

国立大学法人富山大学学術研究部人文科学系 教員公募

1. 募集人員 講師1名（任期10年 再任可）
2. 所属領域等 学術研究部人文科学系 人文学部 行動・社会文化領域（教育研究分野：心理学）
3. 専門分野 心理学
4. 担当科目等 学 部：教養教育科目（「こころの科学」等）
学部専門科目（「社会・集団・家族心理学」, 「産業・組織心理学」, 「心理学研究法Ⅰ」, 「心理学実験」, 「心理学概論」等）
大学院：「産業・労働分野に関する理論と支援の展開Ⅰ」, 「課題研究」等
5. 採用予定年月日 令和8年4月1日以降のできるだけ早い時期
※採用日はご相談に応じます（令和8年5月1日 等）。
6. 応募条件
 - 1) 大学院修士課程修了者又はこれと同等以上の研究業績を有する者
 - 2) 社会心理学に関する深い見識と業績を有する者
 - 3) 大学院修士課程の授業担当及び研究指導又は研究指導補助が可能な者
 - 4) 大学又はそれに準ずる高等教育機関における研究・教育経験を有する者又はこれと同等以上の研究・教育能力を有する者
 - 5) 学生指導をはじめ大学教育に熱意を持ち、学内業務に精励できる者
 - 6) データサイエンス教育に理解があり貢献できる者
 - 7) 入試の作問、点検等に寄与できる者
 - 8) 科学研究費補助金等外部資金の獲得及び共同研究に意欲がある者
 - 9) 地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できる者
 - 10) 専門科目について英語で授業ができることが望ましい
 - 11) 外国人留学生の教育に熱意のある者
 - 12) 教養教育に貢献できる者
 - 13) 採用後、富山市またはその近郊に居住できる者
7. 提出書類
 - 1) 履歴書（所定様式に記載し、3ヶ月以内に撮影した写真を貼付のこと） 1部
 - 2) 研究業績一覧（所定の書式により、著書、学術論文、その他著作物等を種類別に記載し、それらに通し番号を付し、主要研究業績3点以内に○印をつけること） 1部
（「別紙1 科研費」及び「別紙2 科研費以外」も提出すること）
 - 3) 主要研究業績3点以内又はそれらの写し 各1部
 - 4) これまでに行った研究の概要（1,000字程度） 1部
 - 5) 着任後の教育・研究に関する抱負（1,000字程度） 1部※提出された書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。
8. 応募締切 令和7年11月28日（金）必着
※応募状況によっては、応募締切を延長する場合があります。
9. 応募方法 郵送又は JREC-IN Portal「Web 応募」
※JREC-IN Portal「Web 応募」で応募の場合は、提出書類を1つの PDF ファイルにまとめてアップロードして下さい。
10. 郵送の場合の書類送付先
〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学人文科学系長 伊藤 智樹
※封筒の表に「行動・社会文化領域（心理学）教員応募書類」と朱書きし、簡易書留郵便又は書留郵便で送付のこと。
※応募書類は原則として返却しません。なお、返却を希望する場合は、応募時にその旨を文書でお知らせ下さい。
11. 問合せ 先

(公募内容等) 富山大学五福高岡地区事務部人社系総務課 (人文学部担当)

電話：076-445-6140

E-mail：jinbuns@adm.u-toyama.ac.jp

(給 与 関 係) 富山大学総務部人事課

電話：076-445-6524

12. その他

- 1) 選考の段階で面接等を実施する場合があります。その際の旅費等をご自身で負担願います。
- 2) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。
- 3) 採否の結果については、決定後速やかに応募者本人に通知します。
- 4) 労働条件については、本学職員就業規則によることとし、給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。また、本学では退職時に退職手当を支給する新年俸制を導入しており、本公募による採用者も当該年俸制が適用されます。
- 5) 本学の定年は満 65 歳です。

○ 富山大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下 URL をご覧下さい。

[ダイバーシティ推進センター]

<http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

[富山大学ダイバーシティ推進宣言]

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○ 若手研究者の積極的な応募を歓迎します。

以上